

1 市民の暮らし支える市政について

(1) 生活保護・生活困窮者支援の諸課題について

- ① 磐田市における生活保護の背景と実態、課題について伺う。
- ② 国の生活扶助費基準の見直しによる削減は、貧困対策にも逆行する。生活保護の見直しによる具体的影響について数値で示されたい。
- ③ 就学援助利用者にも削減の影響がでてくる。利用者数、基準の現状と今後の対応について伺う。また、他の低所得者に対する施策にどのような影響を及ぼすか。
- ④ 日本は生活保護を利用できる資格がある人のうち、実際に利用している割合（捕捉率）は2割以下と言われている。どのように認識されているか。また、磐田市の捕捉率についてどのように把握しているか、伺う。
- ⑤ 市内における生活困窮者自立支援法に基づく支援人数、判断基準、支援の内容、今後の課題と充実策について伺う。また、生活保護につながる役割もあると思われるが、実態はどうか。
- ⑥ 生活困窮者や高齢者らが安心して暮らすことのできる公営住宅の増設や空き家活用など、行政の責任で整備することが必要と考える。見解を。
- ⑦ 札幌での生活困窮者の共同住宅「そしあるハイム」が全焼した。市内における同様の共同住宅・施設等が存在しているか伺う。また、実態調査が必要と考えるがどうか。
- ⑧ 生活困窮者に寄り添った研修の実施が全庁的に必要と思われるが、この間の取り組み状況、今後の実施計画について伺う。
- ⑨ 子どもの貧困実態調査の中での現状をどう把握したか。今後の支援策の検討状況も明らかにされたい。
- ⑩ 静岡県は10月から高校生の医療費助成を実施するとの方針を示した。市としての見解を示されたい。また、負担割合などの調整、協議等、今後の実施に向けてのスケジュールを示されたい。

## 2 市民の避難計画・安全対策について

### (1) 浜岡原発広域避難計画について

- ① 浜岡原発の事故を想定した県の広域避難計画に基づく市の避難策定状況を明らかにされたい。また、策定にあたっての課題は何か。
- ② 従来から地震・津波災害の避難は徒歩での避難が原則である。ところが、原子力災害だけは車で避難となっている。複合災害時では明らかに矛盾すると思われる。見解を示されたい。
- ③ 磐田市は原子力災害単独の避難先は岐阜県、複合災害時は石川県となっている。避難先の市町との合意はどのように図られたか。避難場所、避難経路等、具体的内容について説明されたい。
- ④ 要配慮者施設の避難計画には、県が作成している要配慮施設等の避難計画策定マニュアルに基づいて施設の管理者が作成していくとある。市内の策定状況は。また、市との連携をどのように図っているか。今後の対応について伺う。
- ⑤ 竜洋海洋公園は、津波危険地域、液状化危険地域にあり、複合災害時には避難退域時検査場所として使用できない。再検討すべきであるが、見解を示されたい。

### (2) 弾道ミサイルを想定した避難訓練を1月24日に豊岡中学で行った。学校での避難訓練は県内では、初めてである。実施に至った経過について伺う。また、実施は行き過ぎで危機感や不安感、対立感情をあおるもので、今後は中止すべきである。見解を。